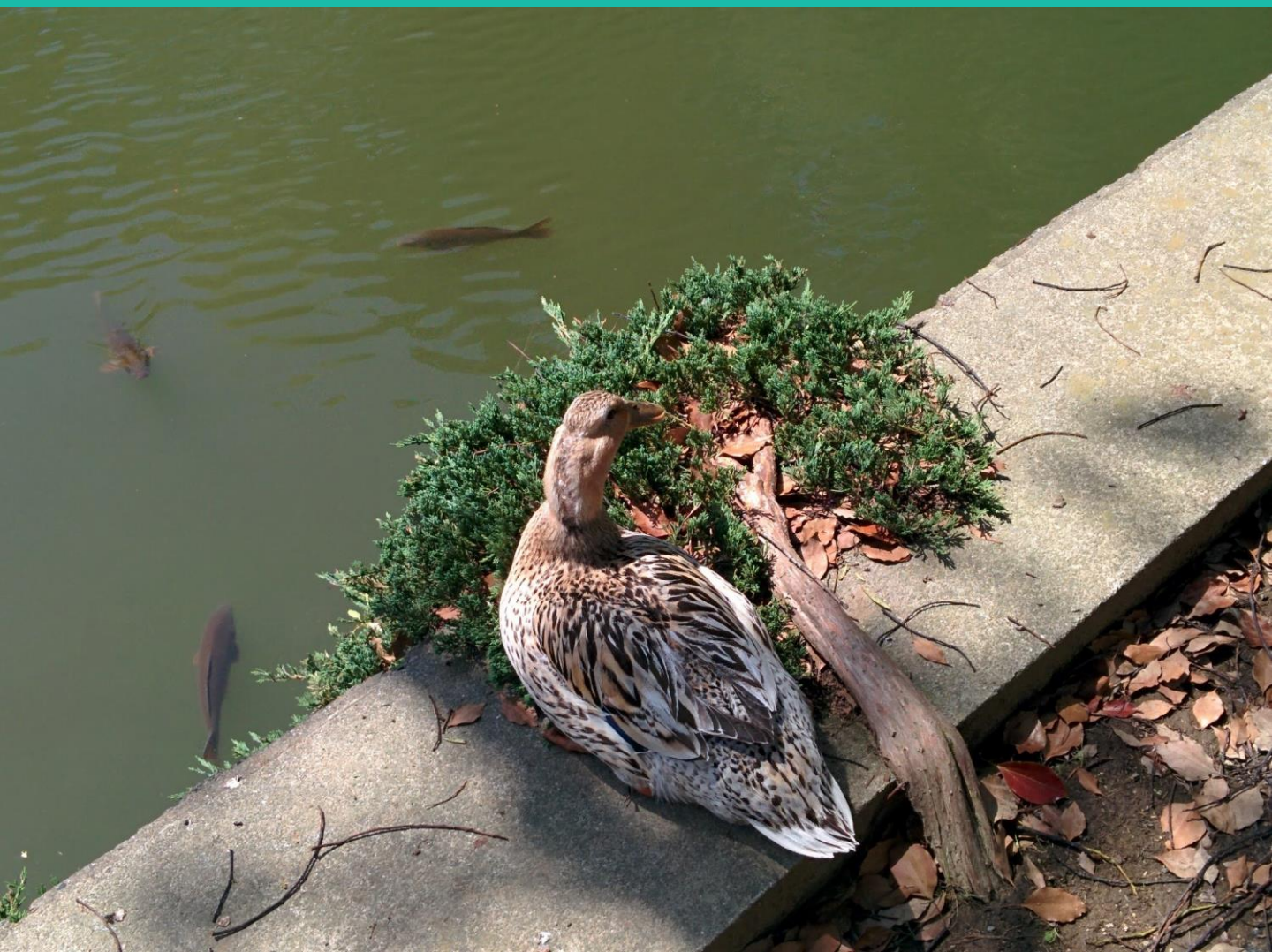


# 環境報告書 2025



NEC ネットワーク・センサ株式会社

# 目 次

1. トップメッセージ
2. 会社概要／報告書の対象範囲
3. 環境方針
4. I S O 1 4 0 0 1 認証登録／環境管理体制
5. 環境監査／法順守／環境事故・災害・苦情
6. 当社と環境との関わりマズバランス
7. 生物多様性貢献活動
8. 2 0 2 4 年度の活動報告
9. 2 0 2 5 年度の活動目標

# トップメッセージ

世界の平均気温は上昇傾向にあり、その影響で極端な高温や大雨の頻度が増して気象災害は深刻化するばかりです。文部科学省と気象庁は、気候変動対策の効果的な推進を目的として「日本の気候変動2025」を2025年3月26日に公表しました。資料によりますと、国内でも平均気温の上昇、極端な高温や大雨の増加など様々な気候変動が観測されており、例えば、1時間降水量50mm以上の大雨の頻度は40年前と比べて1.5倍に増加した一方、雨の降らない日は100年当たりで9.2日増加しているそうです。



代表取締役社長  
竹井 学

国際エネルギー機関は2024年6月6日に「世界エネルギー投資報告2024年版」を通じて、全世界のクリーンエネルギーへの投資額が2兆ドルを超え、化石燃料への投資額の約2倍に達する見通しであることを発表しました。また、EUは2024年6月17日に「自然再生法」を採択し、EU域内の陸地、海域および生態系の再生に必要な措置を講ずるとしております。このように、世界中の様々な分野で気候変動対策が推進されています。当社におきましても、製品および事業活動の省エネルギー化による地球温暖化対策、再生可能エネルギー発電設備の導入検討、河川敷清掃を通じた生物多様性貢献活動などの取り組みを積極的に推進しております。

NECは2025中期経営計画において、NECが目指す社会価値、事業成長のための重要な要素の一つに“環境”を位置づけました。そして環境面からの推進計画をエコ・アクションプラン2025としてまとめ、NECグループ全体で推進しています。

そして、NECネットワーク・センサは、NECグループにおいて、安全保障や社会インフラに関わる各種センサ、通信ネットワーク、セキュリティ機器などのものづくりと保守サービスを担う会社です。ものづくりを通して安心、安全で豊かな社会の実現に貢献するとともに、長年培ってきた様々なノウハウにより、お客様の業務負荷低減、環境に配慮した製品開発など、気候変動の緩和や生物多様性の保全に取り組み、地球にやさしい循環型の社会、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

# 会社概要／報告書の対象範囲

## 会社概要

創 立 ： 1 9 9 9 年 6 月 2 5 日

事業内容：通信・電子機器及び関連諸機器の設計・製造・販売並び  
に通信・電子機器等の保守メンテナンス

資本金 ： 2 億円(NEC全額出資)

売上高 ： 3 7 4 億円(2 0 2 4 年度実績)

従業員数：1 0 9 6 名（2 0 2 5 年 4 月 3 0 日現在）

本 社 ： 東京都府中市日新町一丁目 1 0 番地（NEC府中事業場内）

## 対象範囲

対象期間：2 0 2 4 年度（2 0 2 4 年 4 月 1 日～2 0 2 5 年 3 月 3 1 日）を  
主な対象としていますが、2 0 2 5 年度についても一部記載して  
おります。

対象範囲：本社・府中事業所

東京都府中市日新町一丁目 1 0 番地

日高事業所

埼玉県日高市原宿 4 0 1 番地

相模原事業所

神奈川県相模原市中央区下九沢 1 1 2 0 番地

白石事業所

宮城県白石市旭町七丁目 1 番地 1 号

# 環境方針

## 環境方針

N E C ネットワーク・センサは環境との調和を経営の最高課題のひとつとして位置づけ、サプライチェーン全体で環境負荷の低減に努め、持続可能な社会づくりに貢献します。

1. 社会価値の創造を、先進技術により実現し、お客さまや地球環境の環境負荷低減、気候変動の影響軽減に貢献します。
2. 通信・電子機器及び関連諸機器の設計、製造、販売並びに整備、保守においては、ライフサイクル全体の環境影響を評価し、環境負荷の低減に配慮します。
3. 事業活動に伴う環境関連法規制、およびステークホルダーとの合意事項を遵守すると共に、サプライチェーン全体での、省エネルギー、省資源、化学物質や廃棄物などによる環境汚染の予防に努めます。
4. 環境負荷の少ないハードウェア、ソフトウェア・サービスを優先的に調達します。
5. 事業活動における環境関連情報を、ステークホルダーに対し開示します。
6. 社員一人ひとりの環境意識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。
7. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定めて運用するとともに、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2022年4月1日  
社長 竹井 学



# ISO14001認証登録／環境管理体制

## ISO14001登録証

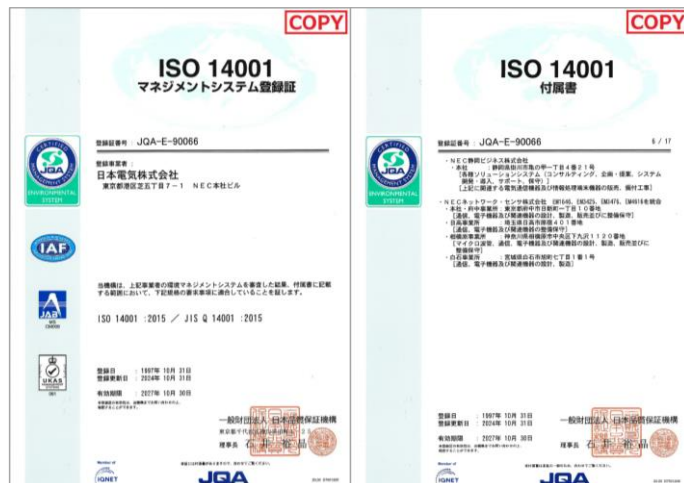
ISO14001マネジメントシステム

登録証番号: JQA-E90066 J

登録 : 1997年10月31日

更新 : 2024年10月31日

有効期限 : 2027年10月30日

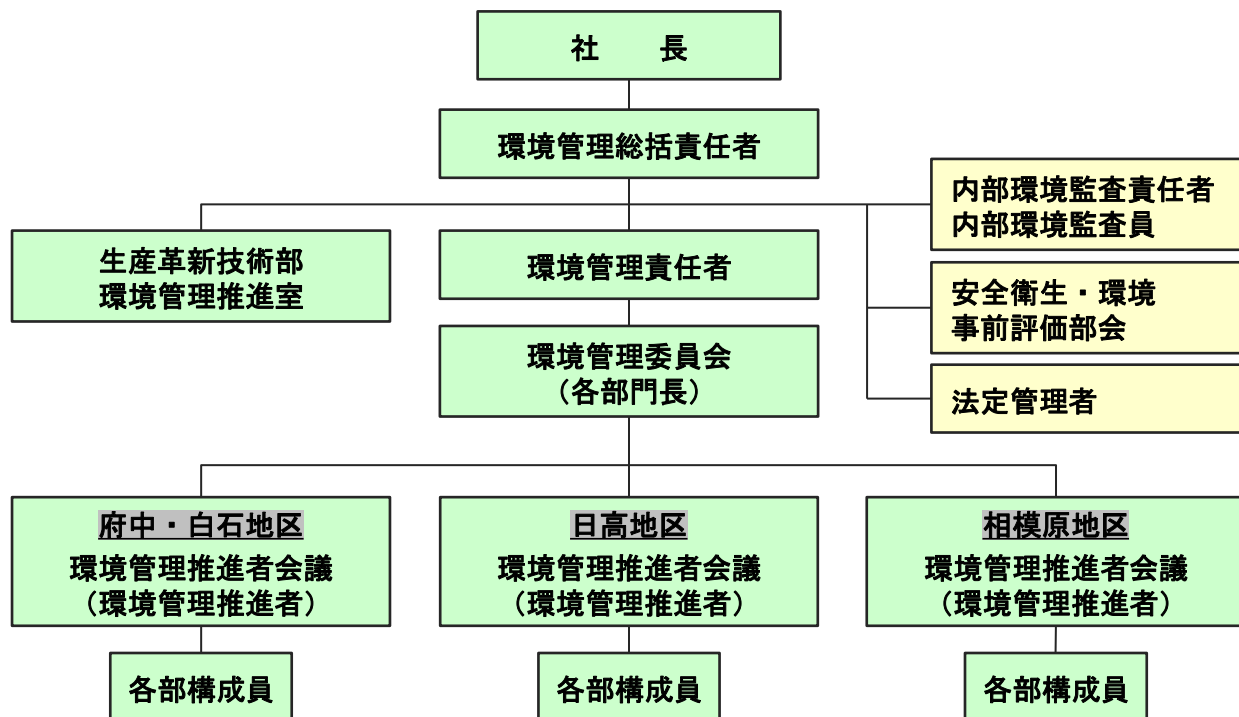


ISO14001登録証

## 環境管理体制

社長、環境管理総括責任者の指示が的確に全従業員に伝わるよう、環境管理委員会と、各事業所毎に環境管理推進者会議を設けています。

また、マネジメントシステムの運用状況の確認、新規設備・化学物質の導入評価、法順守のため、内部環境監査と、事前評価部会を組織しています。



## 環境監査

審査機関によりISO14001規格への適合状況を確認しました。また、NEC環境経営監査を受審し、環境マネジメントシステムが継続的に維持されていることを認められました。さらには環境マネジメントシステム維持向上のため、社内監査を実施しております。

| 審査/監査の種類     | 実施年月日         | 実施結果                                                           |
|--------------|---------------|----------------------------------------------------------------|
| ISO14001更新審査 | 2024/7/24～26  | 適用規格〔ISO 14001:2015〕の中で改善指摘事項は発見されず、登録するマネジメントシステムについて維持されている。 |
| NEC環境経営監査    | 2024/11/27～28 | ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムが維持管理されている                           |
| 内部環境監査       | 2025/2/7～21   | 主要な環境パフォーマンスが継続的に改善され、環境マネジメントシステムが有効に機能している                   |

## 法順守

毎月環境関連法令の改定状況確認と、改正内容が弊社に適用されるものか評価を行い、環境法令を順守しております。

2024年度は、6月に府中事業所にて産業廃棄物の処理を委託した際に電子マニフェストの交付が1日遅れる事態が発生しました。発覚後ただちにマニフェストの交付と廃棄物の処理委託業者への連絡を行いました。是正処置として、日本産業廃棄物処理振興センターからの各種通知及び電子マニフェスト登録を複数名で確認する体制の整備とともに、実務者および管理者への注意喚起・運用ルールの再周知を実施しました。

## 環境事故・災害・苦情

2024年度は、弊社の環境マネジメントシステムで規定する環境事故、災害、苦情はゼロ件でした。

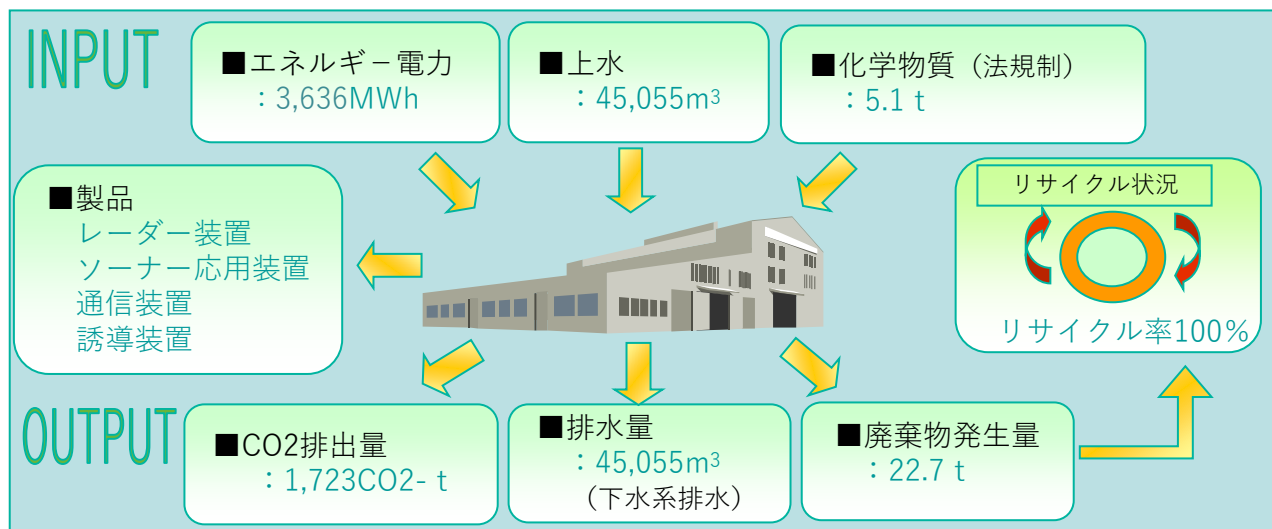
今後も無事故、無災害に向けた活動を継続致します。

# 当社と環境との関わりマ스バランス 1/2

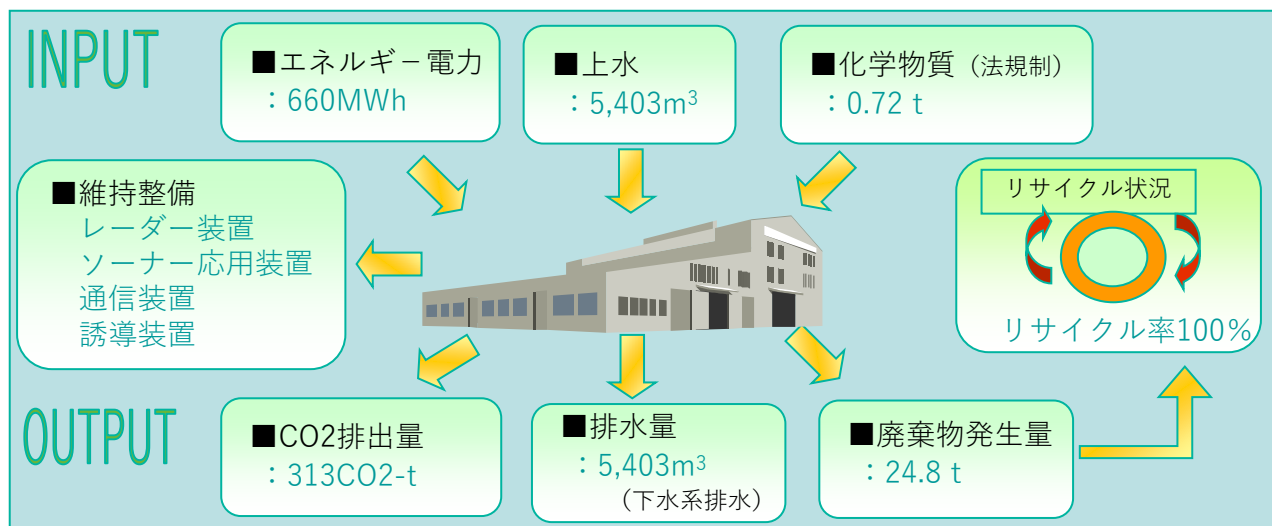
## 環境との関わり(本社・府中、日高、相模原、白石)

エネルギー等のインプットと、CO<sub>2</sub>排出量等のアウトプットを数値で把握し、削減活動を行うことで、環境負荷低減に取り組んでおります。

### 本社・府中事業所



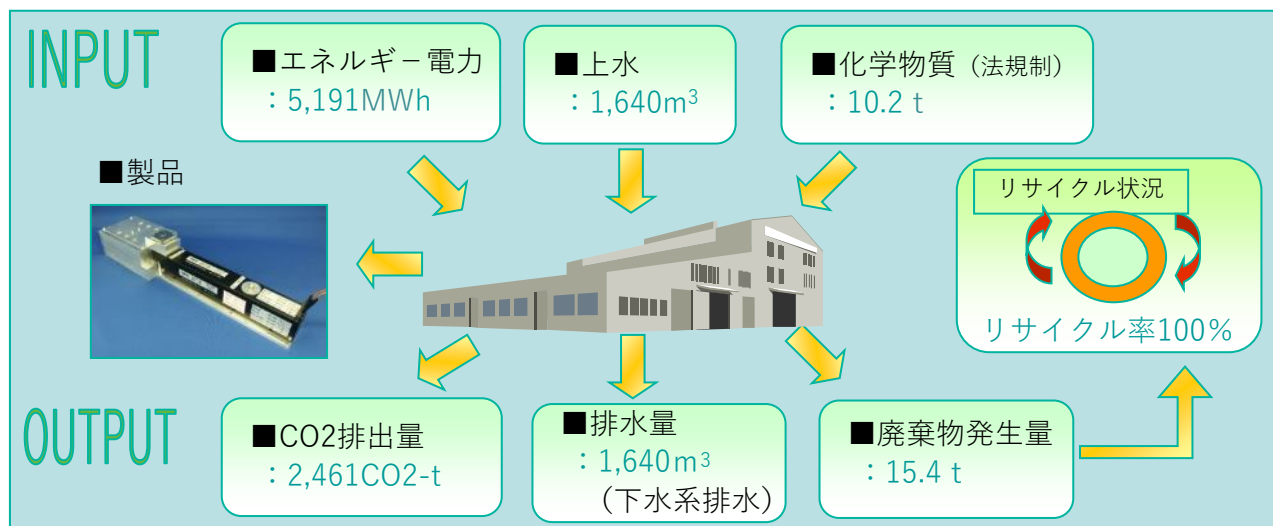
### 日高事業所



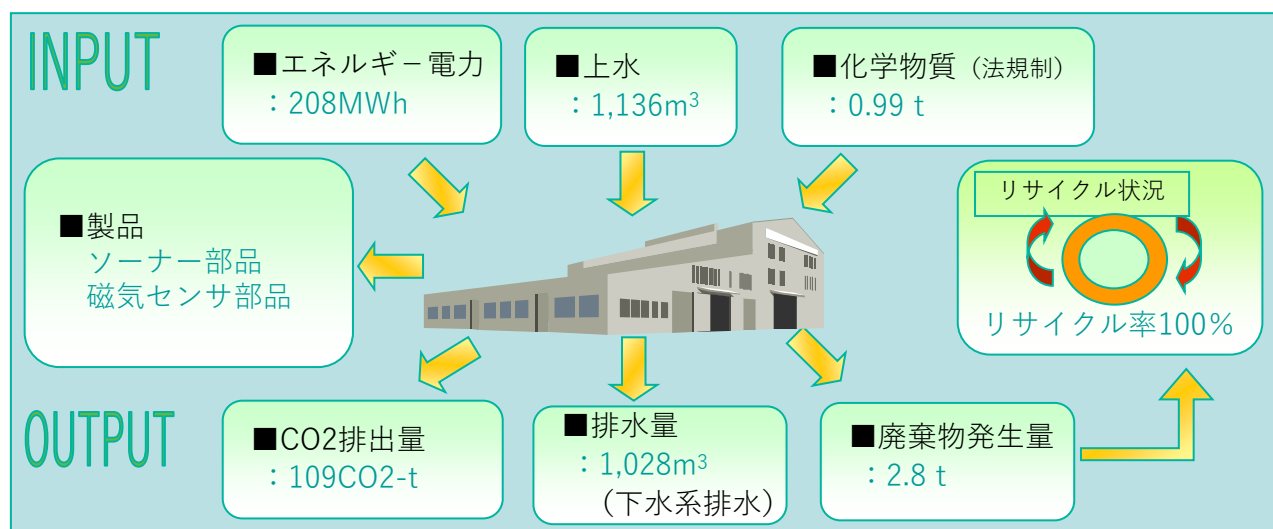


# 当社と環境との関わりマスバランス 2/2

## 相模原事業所



## 白石事業所



# 生物多様性貢献活動

## 生物多様性貢献活動

弊社では、日高市主催の「ごみゼロの日・クリーン日高市民運動」・「道路美化活動」に協力して、高麗川河川敷清掃を実施し、生物多様性保全に貢献しております。この清掃活動は、日高市が毎年５月と１０月に実施しているものであり、当社も毎年参加しています。

今年は５月２５日(日)に２３名が参加し、多量のごみを回収することが出来ました。



# 2024年度の活動報告 1/2

## ■ 主な目標と実績

2024年度の環境管理活動はすべての項目について達成できました。  
省エネルギー活動を着実に実施したことや、環境に配慮した製品開発への取り組みが成果をもたらしました。今後も掲げた目標をすべて達成できるよう、更なる改善に取り組んでまいります。

| 指標             | 項目                             | 目標値                                           | 実績値       | 評価 |
|----------------|--------------------------------|-----------------------------------------------|-----------|----|
| 省エネルギー活動       | エネルギー使用量売上原単位の削減               | 前年度比－1％                                       | 26.1％削減   | ○  |
|                | 再生可能エネルギー発電設備の導入およびグリーン電力活用の検討 | 自社としての目標・活動計画の策定・推進                           | 施策実施      | ○  |
|                | 製品消費電力削減                       | 5件（技術部：各1件）                                   | 6件        | ○  |
| 製品含有化学物質規制への対応 | グリーンめっき（六価クロムレス）の採用促進          | 適用可能装置の個別目標値の達成                               | 100％（全5件） | ○  |
|                | 海外化学物質規制対応（RoHS、REACH、TSCA）    | 社内管理体制の強化<br>RoHS指令対応製品の拡販<br>REACH対応：AIS品目追加 | 施策実施      | ○  |
| 環境意識啓発及び人材育成   | 環境教育受講の徹底                      | 教育受講率95％以上                                    | 100％      | ○  |
| 資源循環           | プラスチック資源循環促進                   | 廃プラスチック排出量削減に向け削減案の検討と実施                      | 施策実施      | ○  |
|                | 廃棄物排出量削減                       | 産業廃棄物排出量2018年度比4.1％削減                         | 47.3％削減   | ○  |



## 緊急事態訓練（相模原事業所）

相模原事業所は、めっき施設等の表面処理施設、排水処理施設等を保有している環境負荷の高い職場になります。これらの施設等に異常があった際の対応訓練を定期的実施しており、2024年度は2回実施しました。訓練を繰り返し実施することで、実際の行動が迅速に取れるよう活動を行っております。

| 実施日        | 訓練タイトル               |
|------------|----------------------|
| 2024年9月26日 | ①有機排ガス洗浄塔 運転停止異常事態訓練 |
| 2025年3月26日 | ②無機排ガス洗浄塔 運転停止異常事態訓練 |

### ①有機排ガス洗浄塔 運転停止異常事態訓練



有機溶剤 拡散防止処置



「立入禁止」処置



有機排ガス洗浄塔 風速測定



### ②無機排ガス洗浄塔 運転停止異常事態訓練



「立入禁止」処置



手動運転切替



ガス検知管を用いた濃度測定



# 2025年度の活動目標

## 主な活動目標

2025年度の活動目標は、省エネルギー活動、法令順守に重点を置き、活動に取り組みます。

| 指標                 | 項目                                    | 目標値                                           |
|--------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 省エネルギー活動           | エネルギー使用量<br>(売上原単位)                   | 前年度比－1%                                       |
|                    | 再生可能エネルギー発電設備<br>導入およびグリーン電力活用<br>の検討 | 再生可能エネルギー発電設備導入<br>およびグリーン電力活用の検討             |
|                    | 製品のエネルギー効率改善                          | 5件（技術部：各1件）                                   |
| 製品含有化学物質<br>規制への対応 | グリーンめっき（六価クロム<br>レス）の採用促進             | 適用可能装置の個別目標値の達成                               |
|                    | 海外化学物質規制対応<br>(RoHS、REACH、TSCA)       | 社内管理体制の強化<br>RoHS指令対応製品の拡販<br>REACH対応：AIS品目追加 |
| 環境意識啓発及び<br>人材育成   | 環境教育受講の徹底                             | 教育受講率95%以上                                    |
| 資源循環               | プラスチック資源循環促進                          | 廃プラスチック排出量削減に向け<br>削減案の検討と実施                  |
|                    | 廃棄物排出量削減                              | 産業廃棄物排出量<br>2018年度比4.8%削減                     |

本レポートについて、ご意見、お問い合わせなどがございましたら、下記までお寄せ下さい。

NECネットワーク・センサ株式会社

本社・府中事業所 生産革新技术部 環境管理推進室  
東京都府中市日新町一丁目10番地  
TEL:042(333)6753 FAX:042(333)6773

●2025年 7月発行